

電気錠スマートコントロールキー

ピタットKey

※お使いいただく前にご確認ください

- ・ シリンダーカバーがハンドルに取り付けられていない場合(袋に入った状態で受け取られた場合)は、シリンダーカバーを取り付けてください。(取り付け方はP.6)
- ・ 防犯配慮のため、ご使用前に必ず非常用カギで施解錠操作を行ってください。非常用カギを使用することで、工事期間専用のカギは無効となります。(操作方法はP.6)
- ・ 防犯配慮のため、お施主様ご自身でピタットKey(カード/シール)の登録を行ってください。(登録作業を行うことで、工事期間中あるいは動作確認のために登録されたピタットKey(カード/シール)の情報は全て消去されます。(登録方法はP.7)

この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書および商品本体の注意ラベルをよくお読みください。

お読みになった後、いつでもご使用いただけるよう大切に保管してください。

お施主様用

保存版

営業・工事担当者の方々へ

この説明書は施工完了後、お施主様へお渡しください

目次



■ 安全にお使いいただくために	1~3
■ ピタット Keyとは	4
■ 各部の名称	5
■ 準備(はじめてご使用になる前に)	6
・シリンダーカバーの取り付け	6
・工事専用カギの無効化	6
・ピタット Key(カード/シール)の登録	7~9
・ピタット Key(シール)の貼り付け	10・11
■ 施錠・解錠方法	12・13
■ 機能について	14~17
・施解錠	14~16
・サムターン	17
・点検時期お知らせ機能	17
■ こんな時は	18
・非常用カギで施解錠をする場合	18
・停電になった場合	18
・ピタット Key(カード/シール)を紛失した場合	18
■ お手入れについて	20・21
■ 故障とお考えになる前に	22
■ 故障の時は	22
■ 仕様	23



ご愛用者の皆様へ

このたびは、YKK AP 商品をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。


● 安全に関する表示

人身事故や財産上の損害を未然に防止するために守っていただきたい内容を示しています。内容をご理解のうえ、商品をご使用ください。

表示	意味
 警告	取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険の発生が想定されることを示します。
 注意	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
お願い	指示に従わないと使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。

記号	意味
	「必ず行ってもらうこと」を示します。
	「してはいけないこと」を示します。

その他の表示

	「ご使用前に読んでいただきたいこと」を示します。
---	--------------------------

2 安全にお使いいただくために

警告

- ❗ 植込み型医療機器(心臓ペースメーカー等)のご装着者が使用になる場合は、室外側ハンドルの読み取り部から植込み型医療機器の装着部位を12cm以上離してご使用ください。
ワイヤレスICカードシステムでは、植込み型医療機器に対して影響を与える可能性があります。
- ❗ 植込み型医療機器以外の医療用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与える可能性があります。

お願い

- ・ ドアの開閉時には、吊元側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんでけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドアの開閉にあたっては必ずドアハンドルを持って操作してください。ドアハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間に指をはさみ思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ ドア開閉時に、扉の下端部に足が当たらないようにしてください。足をはさんでけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
- ・ 風が強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。
- ・ ピタットKey(カード/シール)、その他の操作盤等から操作して作動し、サムターンが回転している間、および電子音になっている間は、ハンドルやサムターンを操作しないでください。作動完了前(電子音が鳴り終わる前)にハンドルやサムターンを操作すると故障するおそれがあります。
- ・ 清掃時、電装部品に水がかからないよう、ご注意ください。水がかかると、故障するおそれがあります。
- ・ 落雷による故障に備えて、避雷器などの設置をおすすめします。

- ・ ピタットKey(シール)は乳幼児の手の届くところに置かないでください。乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んでしまった場合は、医師にご相談ください。
- ・ ピタットKey(カード/シール)に下記のことを行わないでください。故障の原因となったり、使用できなくなる場合があります。
 - ・ 折り曲げる(財布等に保管し、ズボンの後ろポケットへ入れて椅子に座る等)
 - ・ ぶつけたり、つついたりする
 - ・ 汚す
 - ・ 水に濡らす
 - ・ 直射日光を長期間当てる(車中へ放置など)
 - ・ 磁気に近づける
 - ・ 穴をあける
- ・ ピタットKey(シール)に他のものがぶつかったり、押し付けられるような場所への貼り付けはお避けください。ピタットKey(シール)が破損する事があります。

一読

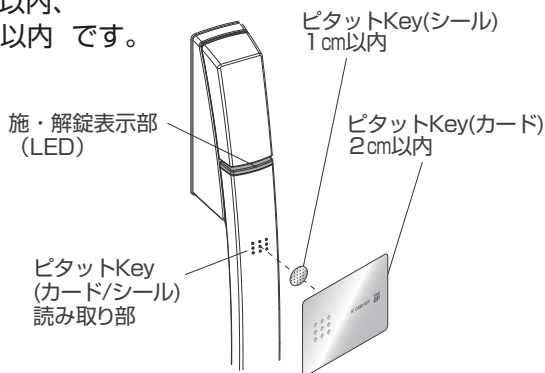
- ・ 本機は精密機器です。停電や本機の誤作動、故障など万一の状況にそなえて、必ず非常用力ギを携帯してください。
- ・ 玄関ドア周辺の電波環境によりピタットKey(カード/シール)の作動範囲が狭くなることがあります。
- ・ ピタットKey(カード/シール)に下記のことを行ない使用すると認証できない場合があります。
 - ・ 他のICカード・磁気カードと重ねる
 - ・ 硬貨など金属のものと重ねる
 - ・ アルミ箔や金箔などの金属を含んだものと重ねる
 - ・ 金属製シールを貼付する
 - ・ 表面が非金属であっても直下に金属、電子基板があるものと重ねる
- ・ 電装部品に不具合が生じた場合は、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

4 ピタットKeyとは

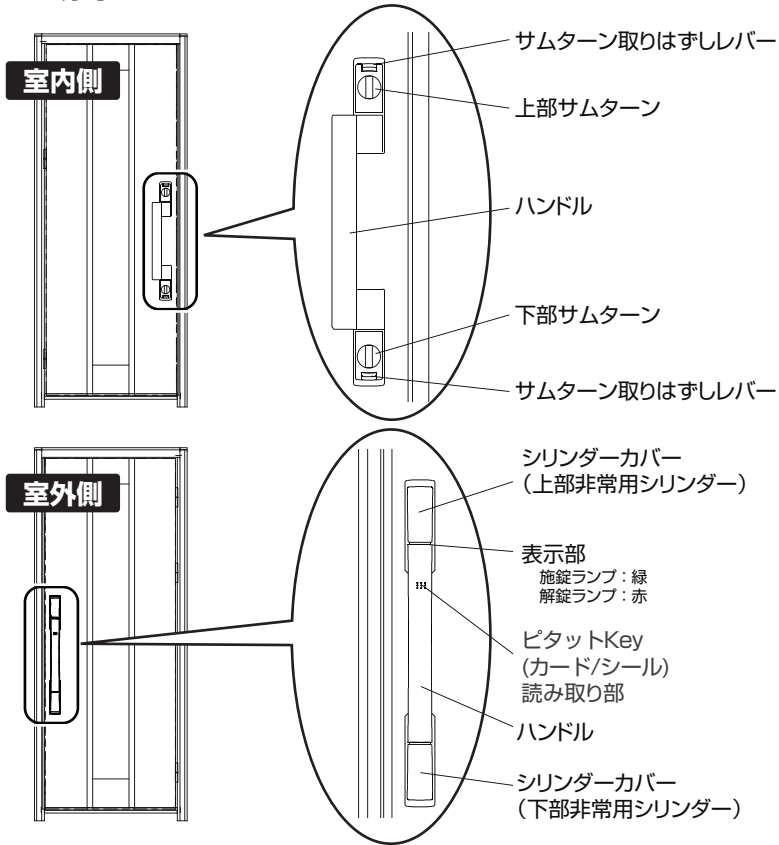
警告

- ❶ 植込み型医療機器(心臓ペースメーカー等)のご装着者が使用になる場合は、室外側ハンドルの読み取り部から植込み型医療機器の装着部位を12cm以上離してご使用ください。
ワイヤレスICカードシステムでは、植込み型医療機器に対して影響を与える可能性があります。
- ❷ 植込み型医療機器以外の医療用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医療用電気機器の動作に影響を与える可能性があります。

- ・ ピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドルの読み取り部へ近づけることで、カギの開け閉めができます。また、非常用カギやサムターンによる手動操作での施錠、解錠もできます。
- ・ 上部錠と下部錠の2ロックで施錠、解錠を行います。
- ・ 万一、ピタットKey(カード/シール)が破損・故障した場合でも非常用カギは使用できます。
- ・ LEDの光と音で、施解錠動作をお知らせします。
- ・ ピタットKey(カード/シール)は合わせて最大20枚まで登録することができます。標準でピタットKey(カード)は3枚、(シール)は2枚付属していますが、それ以上必要な場合は別途ご購入ください。
※ピタットKey(カード/シール)の追加注文は、直接弊社支店まで連絡をください。
- ・ ピタットKey(カード/シール)の作動範囲は室外側ハンドルの読み取り部から平行面で
ピタットKey(カード)：約2cm以内、
(シール)：約1cm以内 です。



■ 玄関ドア



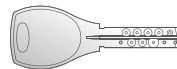
■ ピタットKey



カード



シール



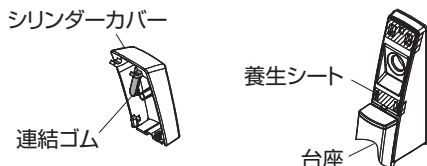
非常用カギ

6 準備(はじめてご使用になる前に)

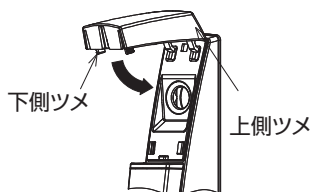
■ シリンダーカバーの取り付け

※シリンダーカバーがハンドルに取り付けられていない場合のみ

- ①台座の養生シートをはずして、シリンダーカバーの連結ゴムを台座真ん中の角穴に押し込んで取り付けてください。



- ②シリンダーカバーの上側ツメを台座に差し込んで回転させながら下側ツメを台座に押し込んでください。

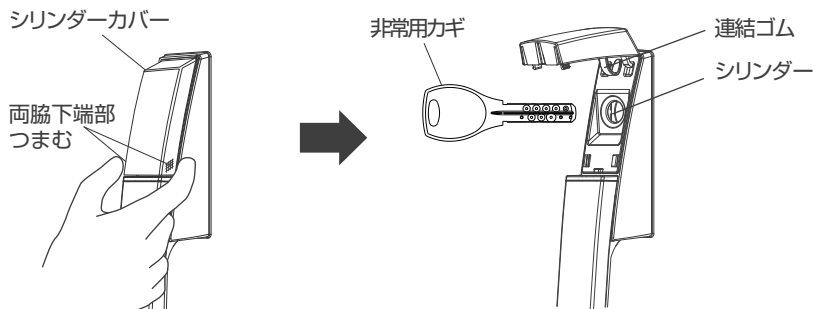


■ 工事専用カギの無効化

防犯配慮のため、ご使用前に必ず非常用カギで施解錠操作を行ってください。

非常用カギを使用する事で、工事期間専用のカギは無効となります。

- ①上下のシリンダーカバーの両脇下端部をつまんで開いてください。
※カバーを強く引くと連結ゴムが切れる場合がありますのでご注意ください。
- ②中にあるシリンダーに非常用カギを差し込んで施錠、解錠操作を行ってください。



■ ピタットKey(カード/シール)の登録

※ピタットKey(シール)の貼り付けは、ピタットKey(カード/シール)の登録・登録確認の後で行ってください。



- ・ピタットKey(カード/シール)の登録の前に、必ず「工事専用カギの無効化」(P.6参照)を行ってください。
- ・防犯の配慮のため、お施主様が利用される全てのピタットKey(カード/シール)の登録を、お施主様自身で行ってください。
登録作業を行うことで、工事期間中あるいは動作確認のために登録されていたピタットKey(カード/シール)の情報は全て消去されますので、安心してお使いになれます。
- ・ピタットKey(カード/シール)の登録は、必ず非常用カギを携帯して行ってください。
- ・ピタットKey(カード/シール)は最大20枚まで登録することができます。登録したいピタットKey(カード/シール)を全て手元に用意して作業を行ってください。
- ・ピタットKey(カード/シール)を登録し忘れた、新しく追加したい場合は、追加登録はできません。全てのピタットKey(カード/シール)を登録しなおしてください。

● 用意するもの



登録する全ての
ピタットKey(カード/シール)



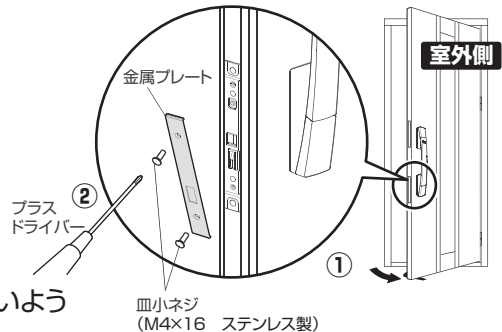
プラスドライバー



ドアストッパー

● 登録準備

- ① ドアストッパーなどでドアを開けた状態にする
- ② プラスドライバーで、ネジを2本はずし、下部錠の金属プレートははずす

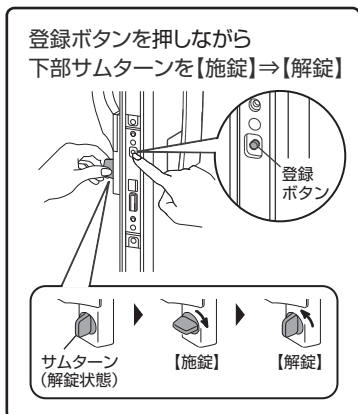


※ ネジ、金属プレートをなくさないようご注意ください。

8 準備(はじめてご使用になる前に)

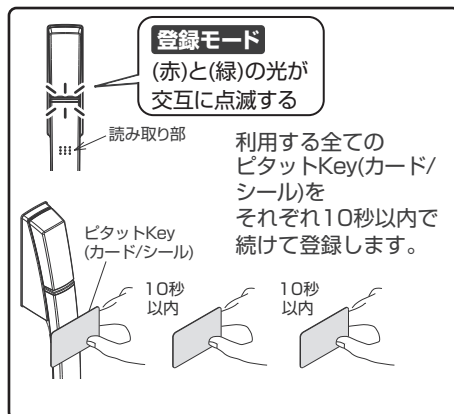
● 登録手順

① 登録モードにする



10秒以内に

② ピタットKey(カード/シール)を登録する



※ ①の後10秒以内に②の操作をしない場合、(赤)と(緑)の点滅が消えて
登録モード が終了します。

状態	登録状況	備考
「ピー」と音が鳴り 緑のLEDが1回点灯	登録完了	● 登録したピタットKey(カード/シール)で施錠・解錠 できます
「ピピピ」と音が鳴り 赤のLEDが3回点滅	登録失敗	● ピタットKey(カード/シール)を近づける時間が 短かった。 ● すでに登録済のピタットKey(カード/シール)を 近づけた ● 21枚目を近づけた。(登録可能枚数は20枚です)

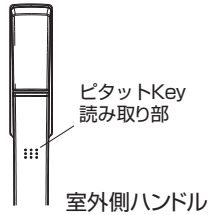
※全てのピタットKey(カード/シール)の登録操作が終わって10秒経過すると
施・解錠表示部の点滅が消え、登録モードが終了し完了します。


● 登録後の作業

登録後、登録確認を行ってください。


ドアを閉じて全てのピタットKey(カード/シール)の登録確認をしてください。

- ① 室外側ハンドルの読み取り部にピタットKey(カード/シール)を近づけます。



施錠、解錠ができる →  登録完了

施錠、解錠ができない

ピピピと音が3回鳴り、施・解錠表示部に赤のLEDが3回点滅 →  登録失敗
1枚でも施錠、解錠ができないピタットKey(カード/シール)がある場合は、すべてのピタットKey(カード/シール)を、再登録してください。

ピピピピピと音が5回鳴り、施・解錠表示部に赤と緑のLEDが交互に5秒点滅 →  施解錠失敗

施解錠動作に異常が発生した場合 (P.14)を参照し、錠受けを調整(P.15、16参照)してください。

- ② 登録確認終了後、「登録準備(P.7参照)」ではずした金属プレートを、ネジで取り付けてください。

■ ピタットKey(シール)の貼り付け

ピタットKey(シール)はお手持ちのモノに貼ることで、玄関のカギになります。但し、貼り付ける際は以下の注意をお守りください。

お願い

- ・ ピタットKey(シール)は乳幼児の手の届くところに置かないでください。乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んでしまった場合は、医師にご相談ください。
- ・ ピタットKey(シール)に他のものがぶつかったり、押し付けられるような場所への貼り付けはお避けください。ピタットKey(シール)が破損する事があります。
- ・ 金属物には貼らないでください。
- ・ 表面が非金属であっても直下に金属・電子基板があるものに貼らないでください。
- ・ 他の非接触カードに貼らないでください。別のIDが登録されるおそれや、混信による動作不良の原因になります。



ピタットKey(シール)は貼り付ける前にセロハンテープなどで仮固定し、施錠・解錠操作の確認を行ってください。一度貼り付けてから再度貼り付けなおすと、接着力が弱くなり、はがれるおそれがあります。

貼り付ける場所

- ・ 平滑な平面に貼り付けてください。

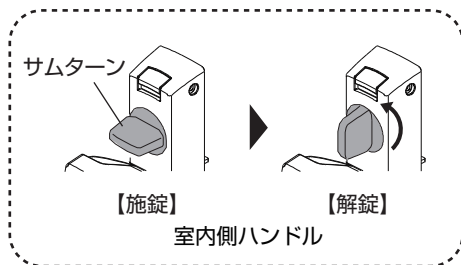
貼り付け方法

- ・ 油脂・汚れを除去してください。
メガネ拭き紙などでふくなど、特に、油分を除去してください。
- ・ ハクリ紙をはがして貼り付けてください。
- ・ 貼り付ける際、粘着面に触れないようにしてください。
皮膚がかぶれるおそれがあります。
- ・ 粘着材に触れた場合はせっけんでよく洗ってください。
- ・ 貼り付けた後はシールを指で強く押し、接着面を密着させてください。
きちんと貼り付くようにしてください。
- ・ 貼り付け後1日は、ピタットKey(シール)に力がかからないようにしてください。

12 施錠・解錠方法

外出時(解錠)

上下2箇所のサムターンをまわして手動で解錠します。



1箇所目のサムターンを解錠したあと、ドアが開かないと50秒後に施錠状態に戻ります。(ピッキング防止機能)

外出時(施錠)

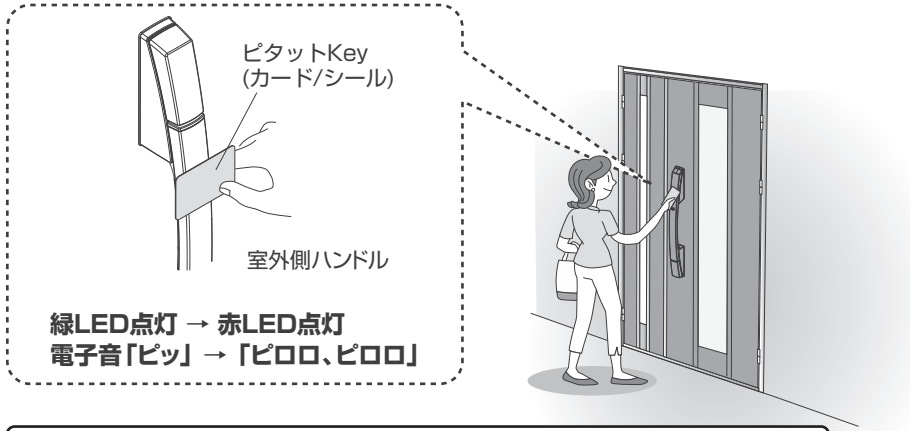
ピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドルの読み取り部に近づけると施錠されます。



不測の事態に備えて、必ず非常用カギも携帯してください。

帰宅時(解錠)

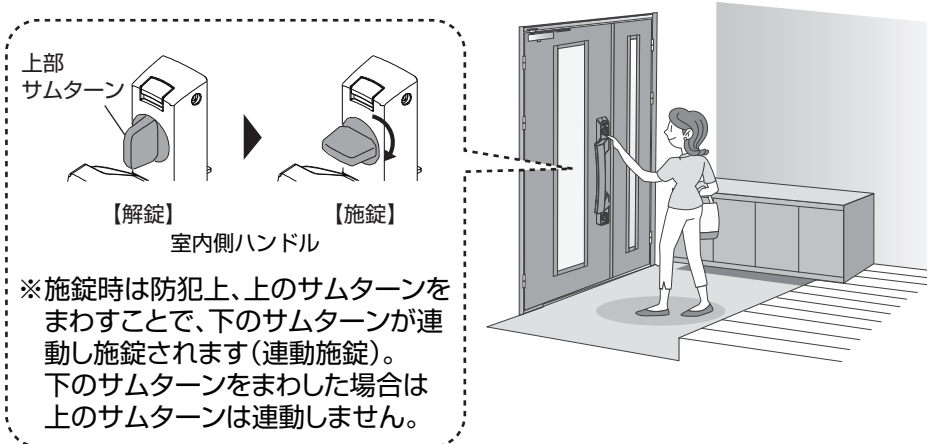
ピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドルの読み取り部に近づけると解錠されます。



解錠したあと、ドアが開かないと25秒後に施錠状態に戻ります。
(誤操作防止機能)

帰宅時(施錠)

サムターンを手動で施錠します。



室内側からのピタットKey(カード/シール)による施解錠はできません。

■ 施解錠

〈連動施錠〉

上部錠・下部錠とも解錠状態の時、上部錠を非常用力またはサムターンで施錠すると連動して下部錠も自動的に施錠されます。

(下部錠を施錠した場合は上部錠は連動しません。)

※解錠時の場合は、上部錠・下部錠共に解錠してください。(連動しません)

〈ピッキング防止機能〉

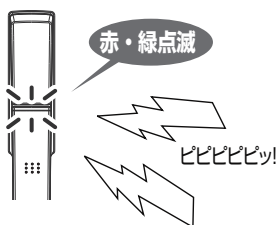
上下どちらか一方が解錠されてから、50秒以内にもう片方を解錠し、扉が開かなかった場合、再度自動的に施錠します。

〈誤操作防止機能〉

ピタットKey(カード/シール)などで上下2箇所とも解錠しても25秒扉が開かなかった場合は、誤操作として再度自動的に施錠します。

施解錠動作に異常が発生した場合

電気錠の作動中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピッ!」と5回鳴ります。室外側ハンドルランプが赤色・緑色に5秒間点滅し、異常を知らせます。



上下錠が錠受けへ確実におさまっていることを確認し、場合によっては錠受けの調整(P15、16参照)をしてください。

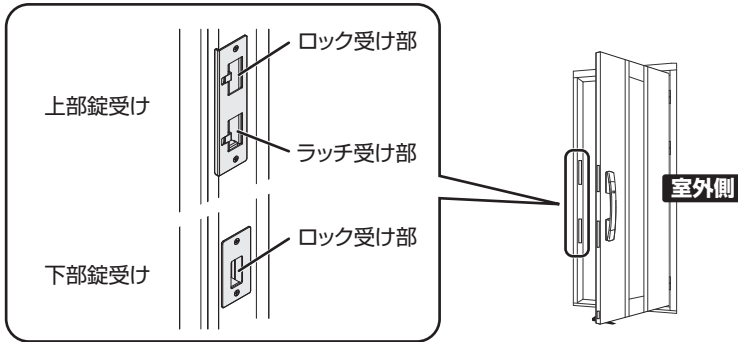
● 錠受けの調整

【非防火品仕様の場合】

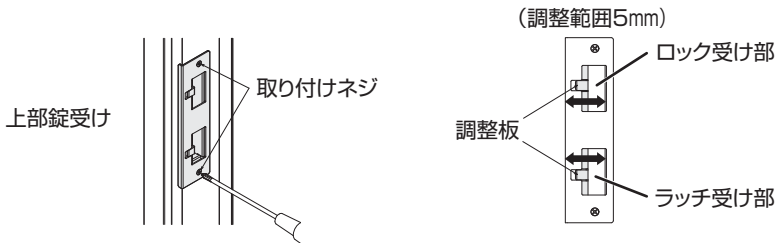
ドアのロックがかかりにくくなった時は、錠受けの位置を調整してください。

調整についてお願い

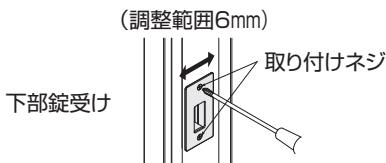
調整は、最小限にしてください。調整時、ドアクローザの調整と併せて行ってください。



- 1 錠受けの取り付けネジをゆるめてください。
- 2 下記の調整範囲で左右に動かして位置を調整してください。
- 3 調整後、上下錠が錠受けへ確実におさまっているか確認し、必ずネジをしっかりとめ付けてください。



※上部錠受けは調整板を調整してください。



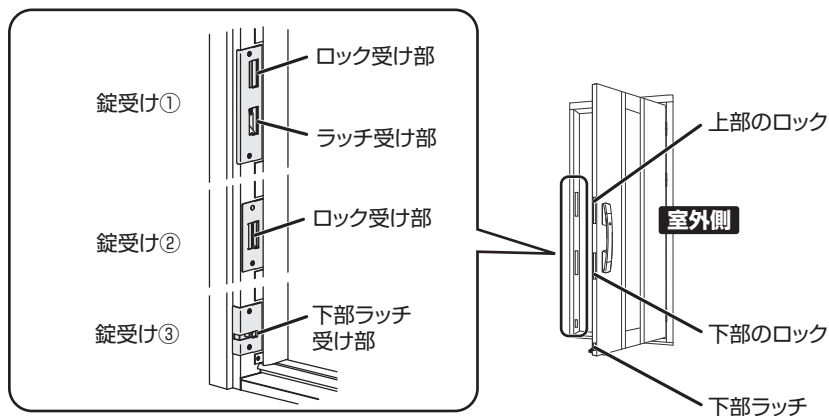
※下部錠受けは錠受け全体を調整してください。

【防火個別認定品仕様の場合】

ドアのロックがかかりにくくなった時は、錠受けの位置を調整してください。

調整についてのお願ひ

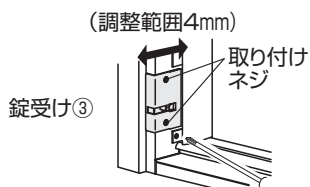
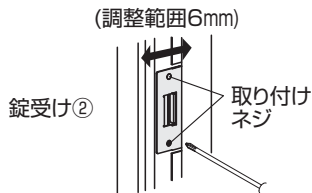
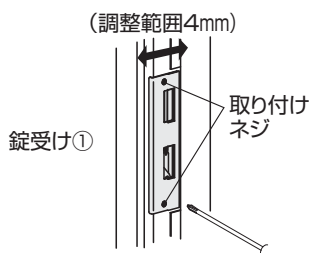
調整は、最小限にしてください。調整時、ドアクローザの調整と併せて行ってください。



- 上部のロックがかかりにくい場合
⇒ 錠受け①を調整してください。
※錠受け①を調整の際は、平行を保ったままで調整を行ってください。
- 下部のロックがかかりにくい場合
⇒ 錠受け②を調整してください。

- 1 錠受けの取り付けネジをゆるめてください。
- 2 右記の調整範囲で左右に動かして位置を調整してください。
- 3 調整後、上下錠が錠受けへ確実におさまっているか確認し、必ずネジをしっかり締め付けてください。

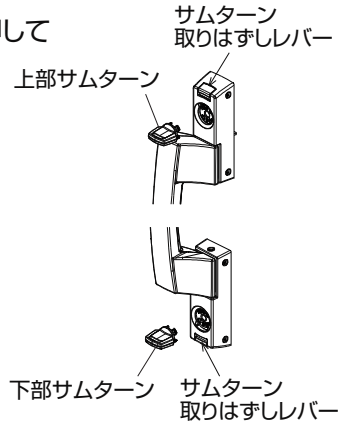
※錠受け①と③は、内部で連動する仕組みとなっています。錠受け①を調整して下部ラッチがかかりにくくなってしまった場合は、錠受け③を調整してください。



■サムターン

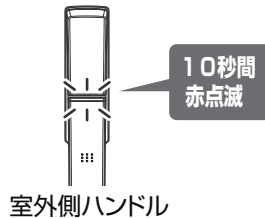
サムターンはサムターン取りはずしレバーを押して取りはずしができます。外出時、就寝時等に取りはずしておく、万一ガラスを割られても、サムターンを使った手動操作による解錠ができません。

- ※取りはずしたサムターンは、紛失しないようご注意ください。
- ※取り付け時、施錠時は横、解錠時はたて向きに差し込んでください。



■点検時期お知らせ機能

使用を開始してから約10年経過または約10万回開閉されると一定期間、施解錠後に室外側ハンドルのランプが10秒間赤色点滅し(ブザーはなりません)製品が点検時期にきていることをお知らせする機能です。一定期間経過すると通知期間が終了し、お知らせ機能は働かなくなります。



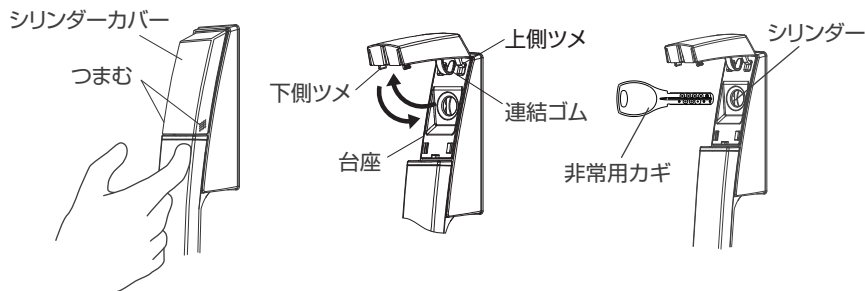
- ※通常は1週間程度で通知期間は終了しますが、使用状況により変動します。通知期間中に扉をあけた状態で、室外側ハンドルの読み取り部に登録済みのピタットKey(カード/シール)を、5秒間近づけることで、通知期間終了前にお知らせ機能を終了させることもできます。

■非常用カギで施錠をする場合

●非常用カギによる手動での操作方法

上下のシリンダーカバーをはずして操作してください(下図参照)。
強く引くと連結ゴムが切れる場合がありますので、注意してください。

1箇所目のシリンダーを解錠したあと、ドアが開かないと50秒後に施錠状態に戻ります。(ピッキング防止機能)



■停電になった場合

停電の際、連動施錠、ピッキング防止機能、誤操作防止機能、(P.14~17参照)は停電復旧後、最初に動作させるまで機能しません。

停電復旧時に施錠動作が自動的に行われることはありません。

手動操作にて確実に施錠(解錠)を行ってください。

停電によってピタットKey(カード/シール)の登録情報が削除されることはありません。

●電気錠動作中に停電等により電源が切れた場合

①非常用カギまたは、サムターンで施錠操作側へまわせるところまでまわします。

②非常用カギまたは、サムターンで解錠操作側へまわすと解錠できます。

停電のタイミングにより、1つの錠のみの施錠/解錠になることがあります。停電等から復旧し、電動で操作すると、ドアの錠が復帰し、通常の操作が可能になります。

■ピタットKey(カード/シール)を紛失した場合

万一ピタットKey(カード/シール)を紛失された場合は、お手元のピタットKey(カード/シール)を再登録することで紛失したピタットKey(カード/シール)の情報が消去され、使用不可となります。お手元のピタットKey(カード/シール)全てを新たに登録してください。

※防犯上非常用カギも紛失している場合は、シリンダー交換を推奨します。

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

■ お手入れについて



- 金属タワシや毛の硬いカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。シンナー、ベンジン、アセトンなどの溶剤は使用しないでください。また、塩素系薬品(漂白剤、カビ取り剤など)は絶対に使用しないでください。



<電動商品の場合>

- お手入れ時、電装部品に水がかからないよう、ご注意ください。故障するおそれがあります。電装部品に不具合が生じた場合は、まず最寄りの弊社支店にご相談ください。

商品を大切に長く使うために、商品の材質に応じた方法でこまめに、お手入れすることが大切です。

お手入れしないままで放置すると、表面に付着した汚れは、しみや腐食・さびの原因となってしまいます。

汚れが付いたら早めにお手入れください。汚れを早めにお手入れすることが、商品を長持ちさせる最良の方法です。

特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食・さびが進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。

● アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品



■ スチール商品

- さび、腐食、色落ちに対する注意が必要です。表面に汚れが見ついたら早めに洗い落としてください。

玄関ドアの鋼板表面を水拭きや中性洗剤によるお手入れを行っても表面の色や艶があせた状態が改善されない場合は、研磨材の入っていない鋼板に適したワックス(注1)を使い、お手入れ(注2)することをお勧めします。

注1：(ワックスの一例)セラリカコーティングピュア

注2：ワックスを使用する場合にはワックスの用途を確認し、ワックスの説明書に従いお手入れを行ってください。ドア鋼板のお手入れに適さないワックスの使用は、変色や汚損の原因となります。

- 防錆剤を塗布すると汚れがつきにくくなり一層の効果があります。(鋼板雨戸)

■ 樹脂製商品

【薬品への配慮】

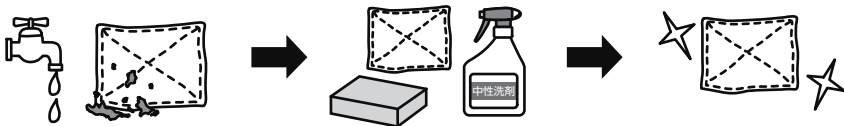
- 有機溶剤が樹脂表面に付着すると、ひび割れやはく離が生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。また、塩素系薬品(次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など)が樹脂の表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。

【キズへの配慮】

- 日常の使用に対して十分に耐えますが、砂などが付いたままふき掃除をすると、表面にキズが付くおそれがあります。

【熱への配慮】

- ストープやアイロンなどの熱源を近づけたり、触れたりしますと変形することがありますので、熱源を商品に近づけないでください。



- ① 柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

- ② 柔らかい布またはスポンジで全体を水拭きをします。
※水拭きで落ちない場合は、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使い軽く洗い流します。

- ③ 乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

22 故障とお考えになる前に / 故障の時は

状 態	考えられる原因	ご確認ください	参照ページ
ピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドル読み取り部へ近づけても作動しない。	ピタットKey(カード/シール)が作動範囲内にはない。	室外側ハンドル読み取り部へピタットKey(カード/シール)を近接させてください。	P.4
	登録済ピタットKey(カード/シール)、他ICカード、硬貨などの金属、アルミ箔や金箔などの金属と重ねて使用している。	原因となるものを重ねずご使用ください。	P.3 P.10
	ブレーカーが切れている。(電源がきていない)	ブレーカーのつまみを「入」にしてください。	—
ピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドル読み取り部へ近づけても作動しない。 (「ピーピーピー！」というブザー音がる)	ピタットKey(カード/シール)が登録されていない。	ピタットKey(カード/シール)を登録してください。	P.8
ピタットKey(カード/シール)を近づけても解錠はするが施錠しない。	ドアが開いている。	ドアを閉めてください。	—
ピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドル読み取り部へ近づけても施錠しない。 (モーターの作動音がし、数秒後「ピピピピッ！」というブザー音がり、室外側ハンドルのLEDが赤色・緑色に5秒間点滅する)	ドアが完全に閉まり切らない状態で操作したため、カギが途中で止まった。	ドアをあけ、解錠した後、再度ドアが閉まったのを確認してピタットKey(カード/シール)を室外側ハンドル読み取り部へ近づけてください。 ※サムターンでも施錠できない場合は、錠受け、ドアクローザの調整が必要になります。最寄りの弊社支店までご相談ください。	P.14 P.16
施解錠後に室外側ハンドルのLEDが約10秒間赤色点滅する。	点検時期お知らせ機能が働いた。	最寄りの弊社支店までご相談ください。	P.17
ハンドルのLEDが約2秒間緑色点灯し、その間操作できない。	停電など、電源供給が一旦なくなり、再度電源が入ったときに点灯します。	LEDが消灯してから再度操作してください。	P.18

■故障の時は

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、最寄りの弊社支店までご相談ください。

■ 錠

1 使用電源	家庭用AC100V±10V電源 50Hz/60Hz
2 電波法区分	誘導式読み書き通信設備
3 使用周波数	13.56MHz
4 登録可能ID数	最大 20
5 使用可能温度範囲	屋外：-30℃～80℃(凍結なきこと) 屋内：0℃～50℃
6 使用可能湿度範囲	0%～90%(結露なきこと)
消費電力(待機時)	1.45W(基本仕様) 3.3 W(操作盤付インターフェースユニット付の場合)
消費電力(動作時最大)	20W

■ ピタットKey(カード/シール)

1 カード規格	ISO15693
2 使用周波数	13.56MHz
3 使用可能温度範囲	0℃～50℃
4 保存温度	-10℃～60℃
5 寿命	使用回数10万回
6 データ保存期間	7年(0℃～40℃)
7 材質	PET(ポリエチレンテレフタレート)樹脂、 エナメル線、その他

■ 交信性能

読み取り距離	室外側ハンドル読み取り部 表面から ピタットKey(カード)：2cm以内、 (シール)：1cm以内 (設置環境により交信性能は変動します)
--------	--

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

